

# E C C 日 本 語 学 院

## 2018年度自己評価報告書

2019年6月3日  
ECC 日本語学院名古屋校  
自己評価委員会

### 1. 学校の教育理念

#### 日本語を通じて夢が実現できる学校

##### 【教育方針】

- 学習者の目標の実現をサポートします
  - ・進学者希望者全員の進学を実現
    - 入学直後より、進学まで段階に応じた進学カウンセリングの実施
    - 日本留学試験の対策授業の実施
    - 総合科目、数学などの特別授業の実施
    - 面接・小論文の徹底指導
  - ・就職希望者へのサポート
    - 就職準備講座・就職活動講座・ビジネスマナー講座の実施
    - 就職カウンセリングの実施
  - ・日本語を使った次のキャリアの基礎づくり
    - JLPT 対策クラスで高い合格率を目指す
    - 学習期間1年を超える学生全員のN2以上の合格を目指す
- 学習意欲を高める学習環境を提供します
  - ・目的意識の高い学生たちがお互いを高めあう環境づくり
  - ・多国籍の学生が学ぶ環境で、日本語でのコミュニケーション力を強化
  - ・教授力の向上に余念のない指導体制
- 日本人との交流の場、コミュニケーションの機会を提供します
  - ・スタッフ・講師の教室内外での積極的な声掛け
  - ・日本語教師養成講座の受講生による「会話の会」の実施

##### 「総合教育機関 ECC 建学の理念」

本学は外国語教授を通じて、近代的なセンスと国際的な感覚をもった社会に実際に活躍でき得る有用な人材を育成しようとするものである。以て国際間の人々の交流と相互理解を促進し、世界の文化向上とその恒久平和樹立に寄与したい。

### 2 評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1 学校の理念・教育目標は定められているか	④ 3 2 1
2 本年度の教育目標・計画は、定められているか	④ 3 2 1
3 学校の理念・教育目標は教職員に周知されているか	④ 3 2 1
4 学校の理念・教育目標を入学を検討している学生・保護者、留学仲介業者に告知する努力をしているか周知されているか	④ 3 2 1
新 学校の理念・教育目標実現のための教育が運営されたか	4 ③ 2 1

### 3目的・理念・将来構想等の周知徹底について

学校の理念・教育目標について教職員に対し、講師便覧説明会などで繰り返し伝えており、周知徹底できていると言える。また「授業評価シート」を作成し、教員が理念・目標を意識した授業づくりができるよう、また授業が実行できているかをはかれるようにした。

また理念・教育目標が書かれたPPTを作成し、エージェントや入学希望者に対しても、入学前に理念・目標が伝えられるようにした。

#### (2)学校組織

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
5 設置者・設置代表者・経営担当役員の適合性	④ 3 2 1
6 組織が適切に運営されているか	④ 3 2 1
7 校長・教務主任の適合性はあるか	④ 3 2 1
8 校長・教務主任・専任教員・非常勤講師の職務内容と責任基準は明確か	④ 3 2 1
9 教育目標達成のための知識と能力があるか	④ 3 2 1
10 生活指導担当者の職務内容と責任基準は明確か	④ 3 2 1
11 入管事務担当者の職務内容と責任基準は明確か	④ 3 2 1
12 取次申請者の配置	④ 3 2 1
13 教員の採用条件と雇用条件が明確である	④ 3 2 1
14 職員の採用条件と雇用条件が明確である	④ 3 2 1
15 教員の研修が行われている	4 ③ 2 1
16 職員の研修が行われている	4 ③ 2 1

#### 学校組織について

告示校の条件に合う校長、生活指導担当者、入管事務担当者、教務主任、専任教員、非常勤教員を配置し、変更があれば入管に報告をしている。

#### それぞれの職務内容について

教務・事務ともに業務分担表を作成し、各自の担当を明確にし、責任を持ち業務を行っている。主任・専任教員・非常勤教員の担当業務についても、講師便覧に明記されている。

教員については、「授業評価シート」を作成した。当校の理念・教育目標に沿った授業ができているかをチェックするための項目を設定し、授業オブザーブの際は、オブザーバーと教員がシートをもとに授業の振り返りを行っている。

#### (3)教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
17 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
18 修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
19 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
20 授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
21 成績評価・単位認定、進級・修了判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1

22 進学に対する指導体制はあるか	④ 3 2 1
23 告示校条件を満たす教員数を確保しているか	④ 3 2 1
24 告示校条件を満たす専任講師を確保しているか	④ 3 2 1
25 適切なクラス編成を行っているか	4 ③ 2 1
26 教員に対して、指導に必要な情報を伝達しているか	④ 3 2 1
27 修了証書授与の条件について、説明、明示されているか。	4 ③ 2 1
28 授業にあたってはロールブックに出席状況、成績状況が記載されているか	④ 3 2 1
29 授業にあたって学生からの要望を聞く場を設けているか	4 ③ 2 1

### 教育活動

毎学期(年 4 回)開始 2 週間後に行う学生のカウンセリングでは、学生から日本語を学ぶ目的を詳細に聞き取りし、授業についての要望も聞く機会としている。その結果をもって、担当教師間のクラスミーティングで情報共有をし、授業の改善点、クラスの目標などについて話し合い、学生の要望に応える努力をしている。

学生の出席に関しては、入学時から日々の生活指導を行っていることで、上級クラスになっても「休まないで勉強することが当然だ」という意識のもと、年間を通して平均出席率98%を保つことができている。このことが、成績、進学、就職へとつながっていると考えている。

### (4)成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
30 日本語能力試験の合格率の向上を図り、その結果を把握しているか	④ 3 2 1
31 進学希望者の全員進学を目指し、その結果を把握しているか	④ 3 2 1
32 日本留学試験の成績向上を図り、その結果を把握しているか	④ 3 2 1
33 その他学生が望む卒業後進路についてのサポート体制があるか	④ 3 2 1

### 成果

校外で実施される日本留学試験や日本語能力試験で成果を上げている。

4 月学期と、10 月学期には、試験対策のクラスを編成し、授業を行っている。その結果、留学試験では高得点獲得者が増え、全国平均を上回る結果となった。能力試験でも N2以上の合格率が国内外の受験者の認定率を上回っている。

進学希望者に対しては、入試前に志望理由書や面接の指導を行っており、進学希望者の進学率は 100%である。

また徐々に増えている就職希望者に対しては、日本での就職状況や就職のビジネスマナーなどのセミナーを開催したり、就職カウンセリングを行ったりしている。その結果、就職を実現する学生も増加した。

### (5)学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
34 入学時に入国オリエンテーションを行い入管知識・日本の法律について指導しているか	④ 3 2 1
35 入学時に生活オリエンテーションを行い学生生活について指導をしているか	④ 3 2 1
36 進学・就職に関する担当者は決まっているか	④ 3 2 1
37 進学希望の学生に対して、進路決定までのながれについて説明がされている	④ 3 2 1

38 学生生活に関する相談体制は整備されているか	④ 3 2 1
39 学生の健康診断は定期的に行っているか	④ 3 2 1
40 新入生に対しての住宅の提供は十分に行われているか	④ 3 2 1
41 アルバイトに関する指導を行っているか	④ 3 2 1
42 交通事故等での保険等の手続き支援を行っているか	④ 3 2 1

### 34 35 入国オリエンテーション・入学オリエンテーション

入学時に入国オリエンテーションと入学オリエンテーションを実施している。

入国オリエンテーションは、入国管理に関する知識を指導し、日本の法律のうち学生に直接関係あるものについて指導を行っている。オリエンテーション後に区役所に行き、在留カードの登録、健康保険の加入、銀行に行き銀行口座の開設を一緒に行っている。

入学オリエンテーションは、学校生活に関する規則などを指導している。遅刻・欠席の扱いなどのほか、災害時の行動についても指導している。

### 36 37 進路・就職支援体制

入学申請時より、進学希望者には日本での希望する進学先について相談に乗っている。入学直後に母語での進学説明会を行い、進学実現までの流れを説明し、不安を解消するとともに目標設定を行わせている。また、学期ごとに行われるカウンセリングにおいても、学生の進路を確認し、アドバイスを行っている。

就職希望者にはセミナーを実施し、就職市場の現状や、実際の活動手順などを紹介している。学生が希望する進路への進学・就職を果すまでサポートし、成果をあげている。

### 39 健康診断の実施

入学後1ヶ月以内に健康診断を実施、さらにその1年後にも実施している。

## (6)教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
43 校舎校地は告示校の条件を満たしている	④ 3 2 1
44 教室は、学習に適した環境である。	4 ③ 2 1
45 自習室が備わっている	4 ③ 2 1
46 学生用の図書が整備されている	4 ③ 2 1
47 防災に対する体制は、整備されているか	④ 3 2 1
48 避難訓練は定期的に行われているか	④ 3 2 1
49 学校近隣の避難所などの情報提供は行なわれているか	④ 3 2 1

### 47 48 49 防災

入学時のオリエンテーションで、地震他の災害時についての避難行動についての説明を行っている。学校近隣の避難所への地図もオリエンテーションにて配布している。年に一度は全校での防災訓練を行っている。

また危機管理マニュアルを作成し、緊急時の職員の動きを明確化した。

## (7)学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
50 理念・教育目標に沿った学生の受け入れ方針を決め、募集活動を行なっているか	④ 3 2 1
51 入学希望者に学校について、入学手続きについての情報が提供されているか	④ 3 2 1
52 入学選考料・入学金・学費についての金額、納付時期について説明がされている。	④ 3 2 1
53 学費の返却規定が定められ、募集要項・ホームページ等に記載されている。	④ 3 2 1
54 海外のエージェントの選択にあたっては慎重に行なわれているか	④ 3 2 1
55 入学選考にあたっては、選考方法が定められているか	④ 3 2 1
56 提出された書類は慎重に審査を行なっているか	④ 3 2 1

### 50～54 学生募集活動について

応募者に対しては、一部の国籍を除きほぼ全員現地またはスカイプを通じ、面接を行っている。またオンライン説明会も引き続き実施し、応募者に直接学校の理念・教育目標を伝える機会を設け、当校について理解・納得した上で申請をってもらうよう努めている。また入国後、スムーズに授業が受けられるよう、日本語レベルの確認や入学までの日本語学習のアドバイスを行っている。

海外エージェントに対しても、年に1回程度訪問をし、理念・教育目標や入学条件などを直接説明するようにしている。

7ヶ国の学生の受け入れについては、海外エージェントの選択を含め、慎重に審査している。当校の運営方針に理解のあることを優先し、当然ながら学生自身の条件が当校の条件に当てはまらなければ、エージェントの推薦があっても受け入れは行わない。その結果、在留資格認定証明書の交付率は非常によい。

### 51 学納金について

入学希望者や保護者に対し、募集要項やその説明の機会を通じて学費や諸経費の説明を行っている。

## (8)入国・在留関係に関する指導及び支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
57 入管業務担当者は、研修に出席すること等により新しい情報を取得している。	④ 3 2 1
58 入管法上の留意点について学生に指導している	④ 3 2 1
59 在留に関する情報を学生に伝達している	④ 3 2 1
60 新入生が速やかに入学後の在留カード登録を行なうように指導している	④ 3 2 1
61 新入生が速やかに健康保険に加入するように指導している	④ 3 2 1
62 帰国を控えた学生に帰国時の手続きについて指導をしている。	④ 3 2 1
63 過去3年間、不法在留者、資格活動違反者を発生させていない。	④ 3 2 1

### 在留管理についての指導

在留資格認定証明書が交付された時点で、入国後行わなければならないことを知らせている。入国後は入国オリエンテーションを実施し、入管法上の手続きについて指導している。スタッフが伴って在留カードの住所登録、健康保険の加入、銀行口座の開設を行っている。資格外活動についての注意も行い、活動状況を記録し、保管している。

1年後のビザの更新時には、経費支弁者からの経費支弁書に記載されたとおりの送金があったのか確認している。学費支払いの滞りは全くない。日本語学習終了時の手続きや、進学時の手続きについても説明会を行い、入管法にのっとりた手続きに漏れが無いように最大限の指導に努めている。

数名の学生が、家庭の事情や、体調不良のため、途中退学となったが、出国確認を行い、告示校規定に従い、退学の報告を名古屋出入国在留管理局に行っている。

### (9)財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
64 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
65 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
66 財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
67 財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

#### 財務状況全般

中長期的に安定した経営基盤を構築するために、経費削減を図る一方で、設備の充実並びに教務体制の強化を図りバランスのとれた経営を行っている。財務状況については、会計上必要な各種財務資料は勿論、経営状況を把握するための各種数値が適時引用可能となる基幹システムを整備し、運営基盤を支えている。予算・収支については、取締役会で承認された中期計画、年度計画に基づき執行している。毎月実績ベースと比較し、妥当に執行されるように確認しながら行われている。内部監査室及び監査役により会計監査が行われており、取締役会・株主総会にて報告している。

### (10)法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
68 関係法令等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
69 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
70 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1
71 自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

#### 法令等の遵守

ECCグループ全員が共有すべき普遍価値として「コンプライアンス・ガイドライン」が定められ、それらを誠実に実行するための行動基準として「役員・従業員行動規範」が明文化されている。また、役員をメンバーとする「コンプライアンス委員会」、「リスク管理委員会」、「情報セキュリティ委員会」も設置し、法律の専門家を顧問として配置するなど、法令等を遵守する体制を構築している。また今年度より日本語学院にもコンプライアンス担当者を定めた。個人情報の取り扱いについては、「個人情報保護に関する基本方針」「情報セキュリティ規程」「個人情報管理規程」を策定し、情報流出等を防止する厳重なセキュリティ対策を維持するとともに、個人情報取扱マニュアルをもとにした従業員への教育を継続していく。

## 3. 2018年度の重点目標の振り返り

### 1. 学生や社会ニーズに合ったカリキュラムや教授法・評価方法への変更

進学を目的としない学生が増えつつあるため、日本語の運用力をつける「活動」の機会を増やした。

また学校の理念・教育目標に沿った授業運営が実行されているかを確認・評価するため、「授業評価シート」を作成し、授業オブザーブ時に使用を開始した。

### 2. 入学オリエンテーションの改善

入管法上の留意点など周知徹底のため、入学オリエンテーションの資料をPPT化し、より伝わりやすいものに変更した。今後も告示基準の改正など、情報を確実に取り、最新情報をもれなく伝えられるようにしていく。

### 3. 日本人と日本語で交流する場の提供

日本人と交流し、日本社会と接する場を学生に提供すべく、名古屋市内の2つの小学校と交流行事を行った。また当校に併設されている「日本語教師養成講座」の受講生が当校の学生と日本語で話をする「会話の会」も週3回行い、授業以外で日本語を話す場を提供している。

## 4. 2019年度に重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### 1. 進学、就職、語学研修など様々な目的に対応する「社会とつながる日本語」の提供

- ・学生の多様化に伴い、初級で新テキストを導入し、カリキュラムや評価方法の見直しを行う。
- ・中級以上の教育目標を見直し、進学を目的としない学生のニーズにも応えられるカリキュラムを制定する。
- ・ICTを活用した授業を発展させる。

### 2. 学校理念・教育目標に沿った授業の展開

- ・学校理念・教育目標を周知徹底する。
- ・授業評価項目が設定された「授業評価シート」を作成し、教員が当校の目標とする授業や態度を意識した授業づくりができるようにする。
- ・授業オブザーブにて、「授業評価シート」をもとに、オブザーバーと教員がともに授業を振り返り、学校理念・教育目標に沿った授業が実現できているかを確認する。

### 3. 地域社会との交流

- ・学校のある金山地区周辺の地域住民と交流する機会をつくり、日本社会に接する機会、学生が地域社会に貢献できる機会をつくる。